

サイノカミに幸祈る 三島

三島の「雪と火のまつり」は八日、町民の伝統行事で国指定重要無形民俗文化財の「サイノカミ」を再現し、来場者が幸せを祈った。



サイノカミの炎が燃え上がる会場でミカンをつかもつとする来場者

川井、澁谷の両地区と地域の子どもたちによる計四体の御神木が並んだ。午後六時に点火すると、炎が少しずつ上部に燃え広がった。サイノカミに合わせて花火が打ち上げられた。つかもと福が訪れるとされる「ミカンまき」が行われ、来場者が懸命に手を伸ばした。地元の商品などを扱う露店が数多く並んだ。当初、少雪の影響で町観光協会の主催。

イベント内容の変更が検討されていたが、開催直前の降雪に伴い、おおむね例年通りの内容となった。

伝統文化に親しむ

三島の「雪と火のまつり」

三島の町民運動場で八日に催された「雪と火のまつり」では、町の伝統文化に関する多彩な企画が練り広げられ、地元住民や観光客らが充実した時間を過ごした。



鳥追い行列の歌を披露する子ども

粉雪が舞う中、国指定重要無形民俗文化財「サイノカミ」が再現された。炎が頂点まで上がる。周囲から拍手が沸き起こった。打ち上げ花火との競演もあり、国内外の観光客が歓声を上げた。

サイノカミを前に地元の子どもが鳥追い行列に臨み、昔から伝わる歌を歌いながら練り歩いた。団子さし、ミカンまき、雪上イベント、ペンギンナッツのお笑いステージ、会場マスクワイアのコスプレライブも練り広げられた。会場には数多くの模擬店が並び、来場者が奥会津のグルメに舌鼓を打った。



来場者の注目を集めたサイノカミ